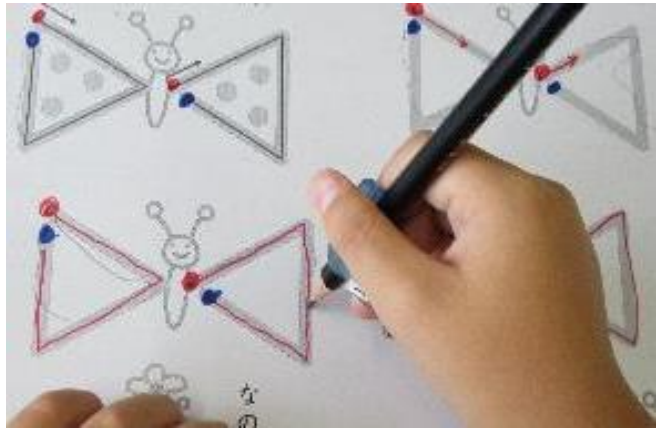


児童・生徒の実態

- ・文字の読み書きができにくい。なぞり書きも難しい。

☆手立て・合理的配慮

・書き始めに赤い点、終わりに青い点を書いておき、書くところを視覚的に意識させながら線のなぞり書きをする。



・筆順が簡単な数字からなぞり書きの練習を行う。毎日書く計画帳を児童の文字の大きさに合わせて作成し、日にちだけなぞり書きで記入するようにする。



・教科名などは手本を確認して、同じものを選んで貼り付けている。



支援を受けてみて

- ・なぞる線に合わせて書くことで、できるようになったことを喜び、進んで取り組んだ。
- ・文字に興味を持ち始め、教科の文字を覚えることができた。